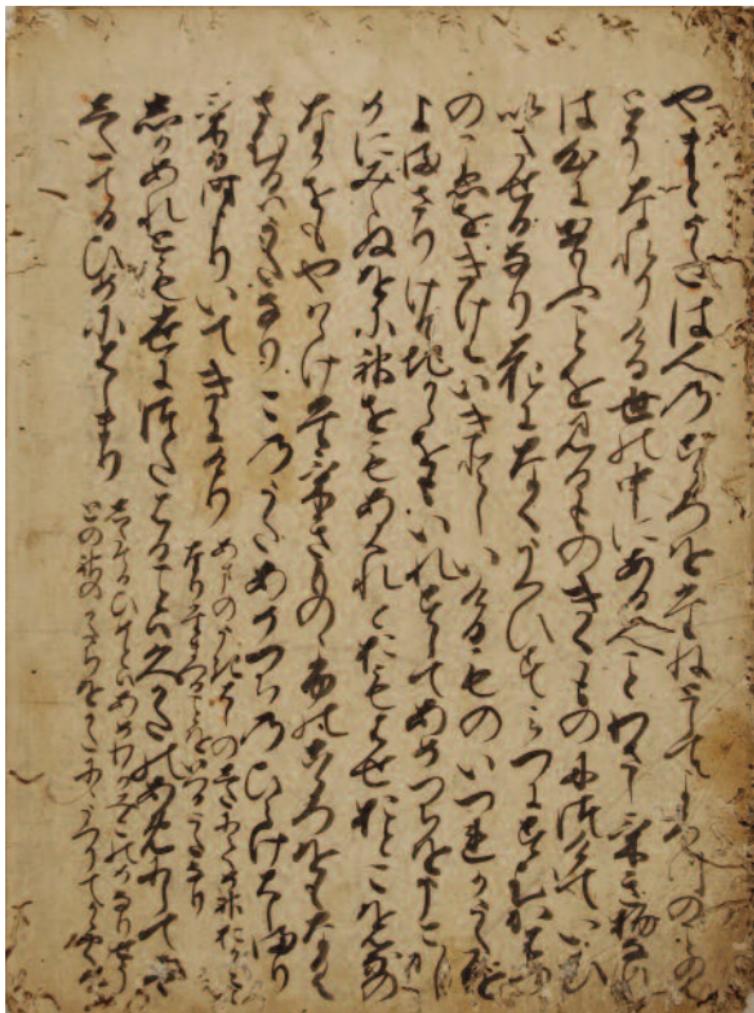
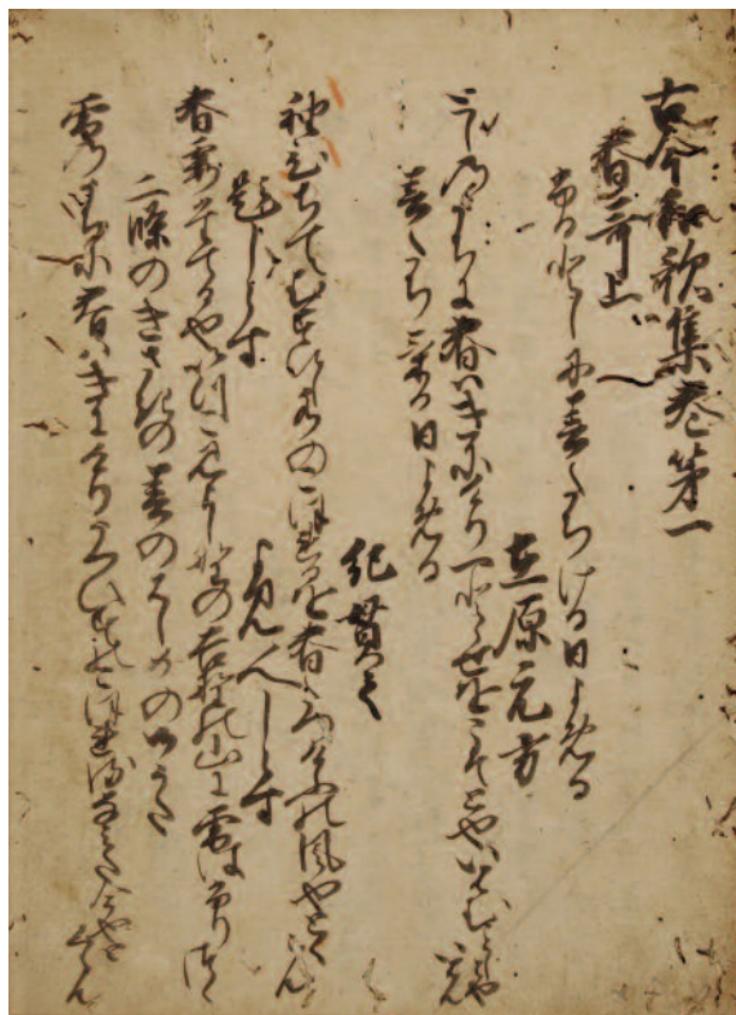


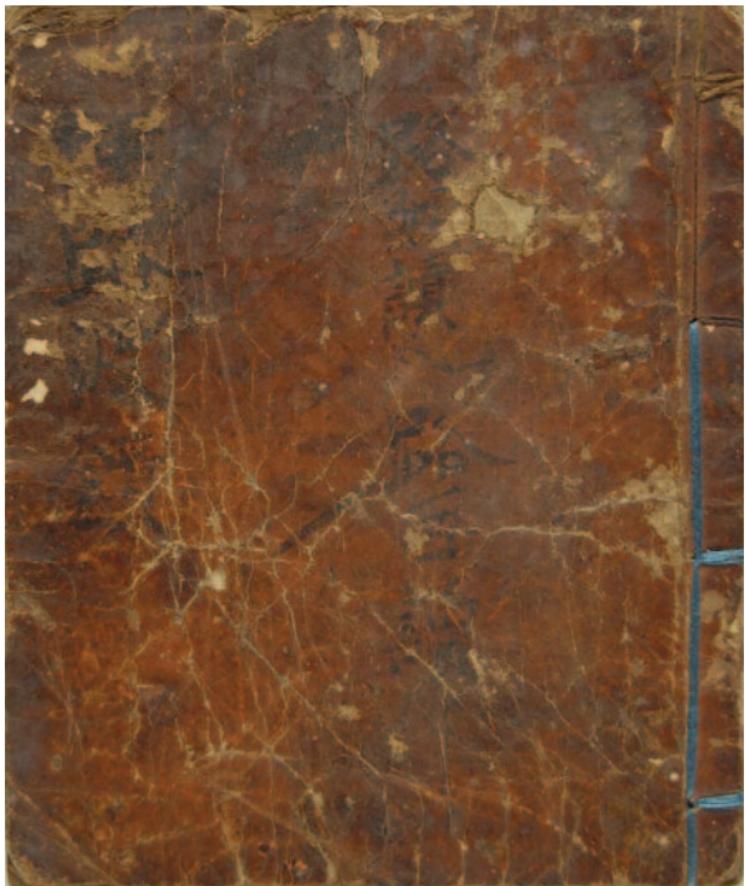
1. 古今和歌集（鎌倉時代後期寫）



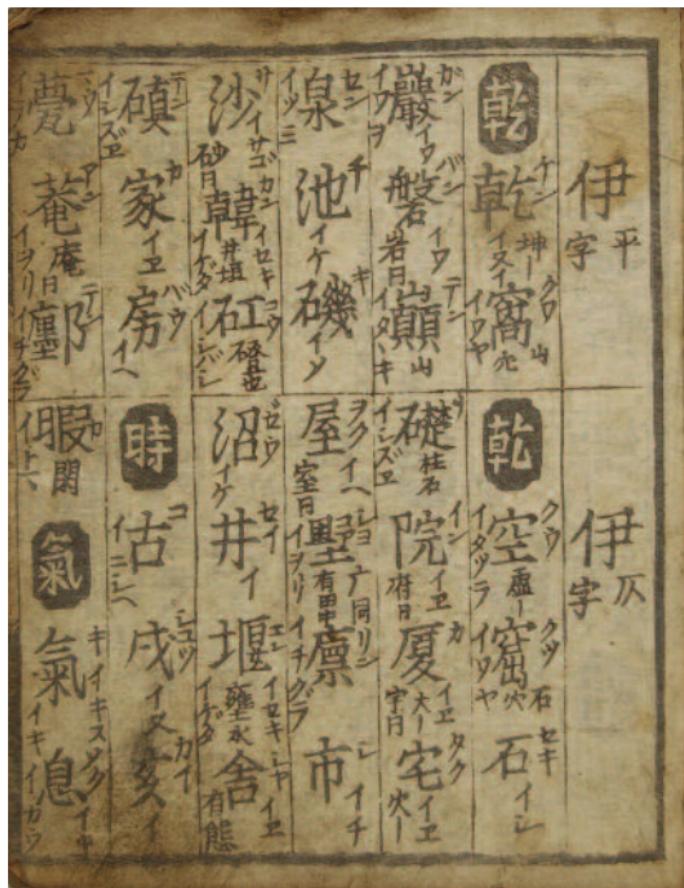
## 1. 古今和歌集（鎌倉時代後期寫）



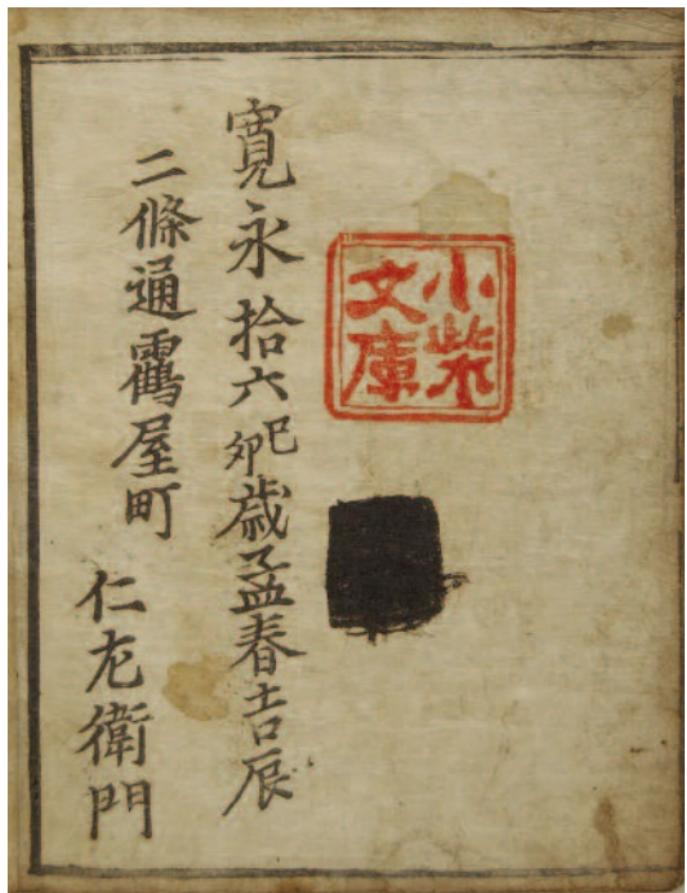
1. 古今和歌集（鎌倉時代後期寫）



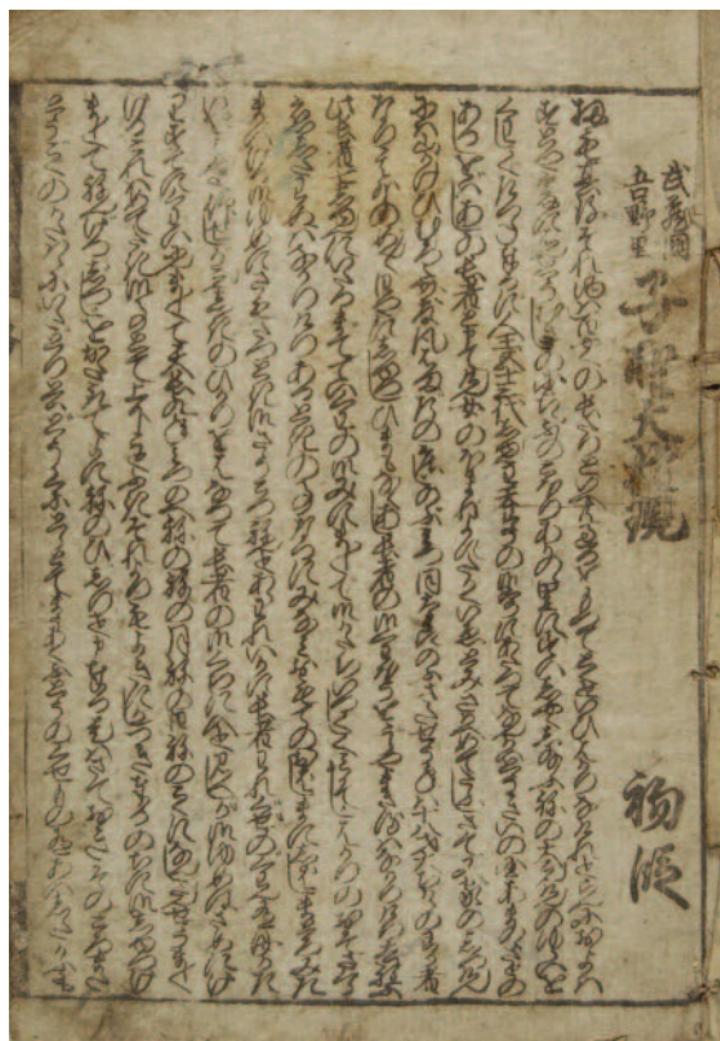
2.伊呂波韻 (寛永16年刊)



## 2. 伊呂波韻 (寛永16年刊)



2.伊呂波韻（寛永16年刊）



3. 武藏野吾野里子聖大權現（説經正本・六段本）

三 武藏野里子聖大權現（説經正本・六段本）







4. 日本永代藏 (井原西鶴著)

日本新永代藏卷之一

圖錄

白浪百枚巻書

大波よそれうきこ大波よ波

泉川端の波観え代筆の海

五支みば縁と一石小鬼囃聲庵

者極よ序云無石の如き坊主

毒はと葉はと毒はと



5.日本新永代藏（鳳城團水著）

四 日本永代藏（井原西鶴著）





四 日本永代藏

大福新長者教（井原西鶴著）





五 日新永代藏 今世長者鑑 (鳳城團水著)





一〇 曾根崎情鶴（浮世草子・八文字屋本）





二 蕙齋百千鳥





二八 東都兩國之風景ノ板木（昇亭北寿画）

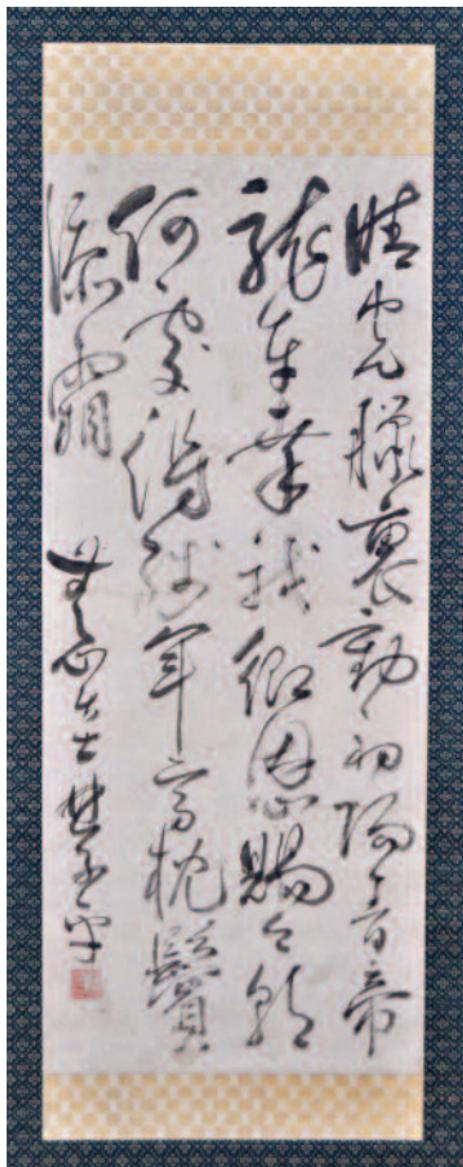




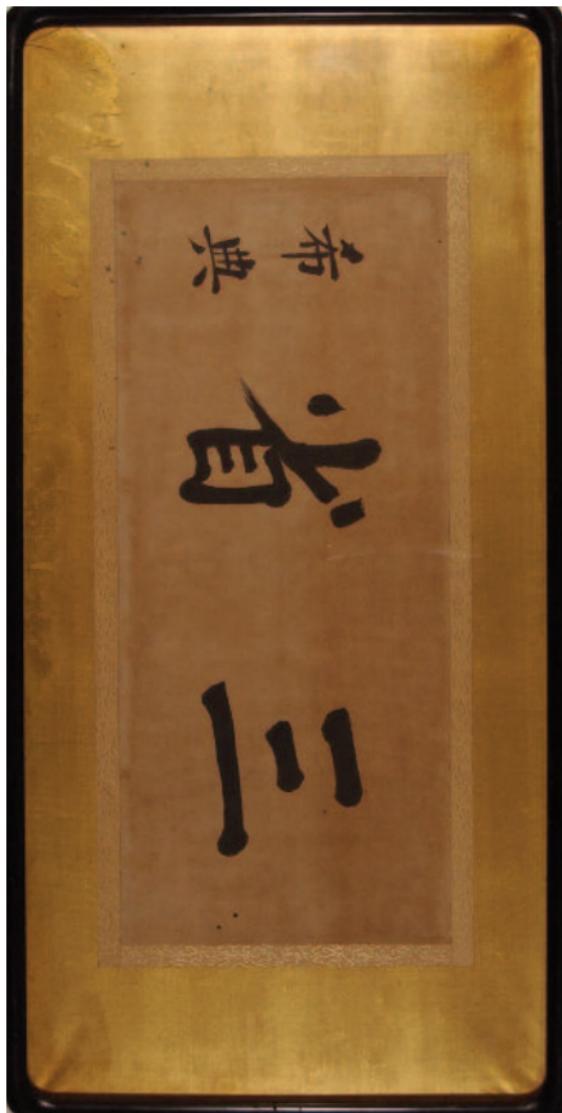
二三五 上野動物公園並運動場新設計畫說明書及地圖（古賀忠道記）







145.林子平書幅



147.乃木希典遍額

宋佐保羅達哥林景人前書

哥林支ハ則ナケレキヤ境内アハイヤニ在ル一城邑ニ  
 東ベイシイノ海ヲ控レ西ハイラニヤノ海ニ襟レ両海  
 ノ際ニ在ル狭港ニシテ人物往來ノ衝路舟車出入ノ閘津  
 ノ係ル此レニヨリテ外邦イ人民多々其ノ地ニ聚會ス貿易  
 ノ盛ンナレトバレキヤ全國ニ阜起ス高名繁盛ノ城ニシ  
 テ文學藝術尤モ外邦ニ冠ヌリ莫ノ中殊ニ有名ナルハ利  
 ストメイト名タルケレキヤ、訛戯アリ此レニ歲ノ間ニ一  
 會アリテ金ゲリ子ヤ及シ外邦ノ人民ケ士學士等大ニ會  
 聚ス力アレ者ハ才ヲ角ス詩筆ヲ競クニ者ハ詩歌藏  
 史掌セハ著書ヲ讀ムラ各々其長スル所ヲ炫シテ遊戯ト  
 ナ文政書物也人民辐輳ノ地ナリニヨリ利ヲ獲心尤モ受

133. 哥林多前後講述（傳教學校）

薦書

教師 ピヤソン

右者當中會、屬元教師、有之候  
處今般貴中會、轉會改レ度旨  
出テレ候ニ付印千薦書差上  
候也

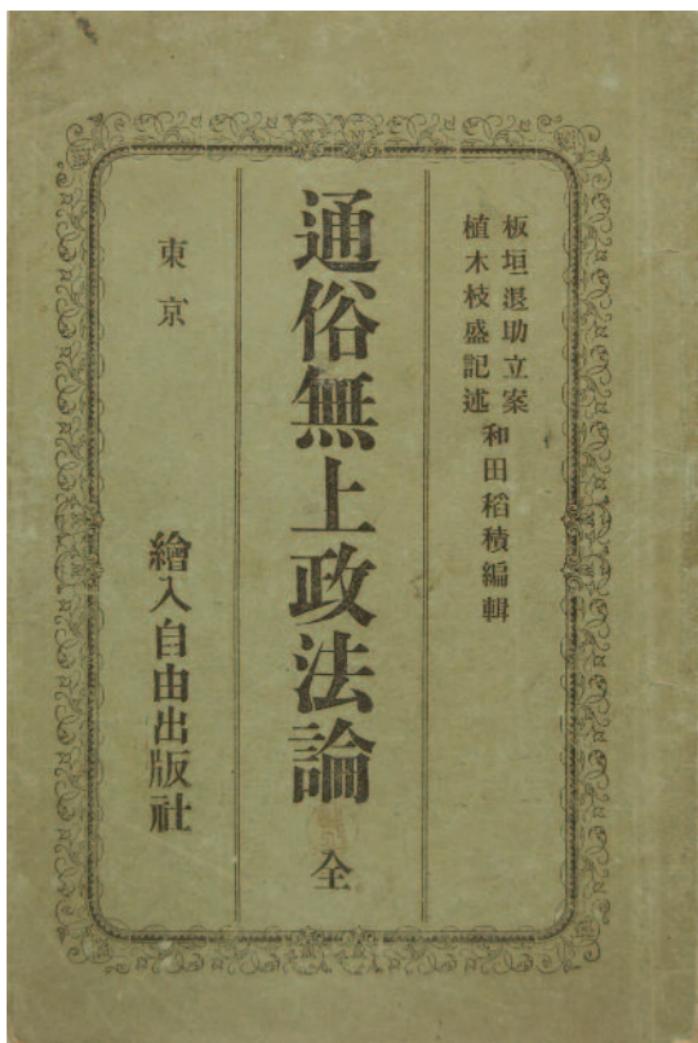
明治卅三年三月廿四日

東京中會書記永井玉



宮城中會書記  
内中

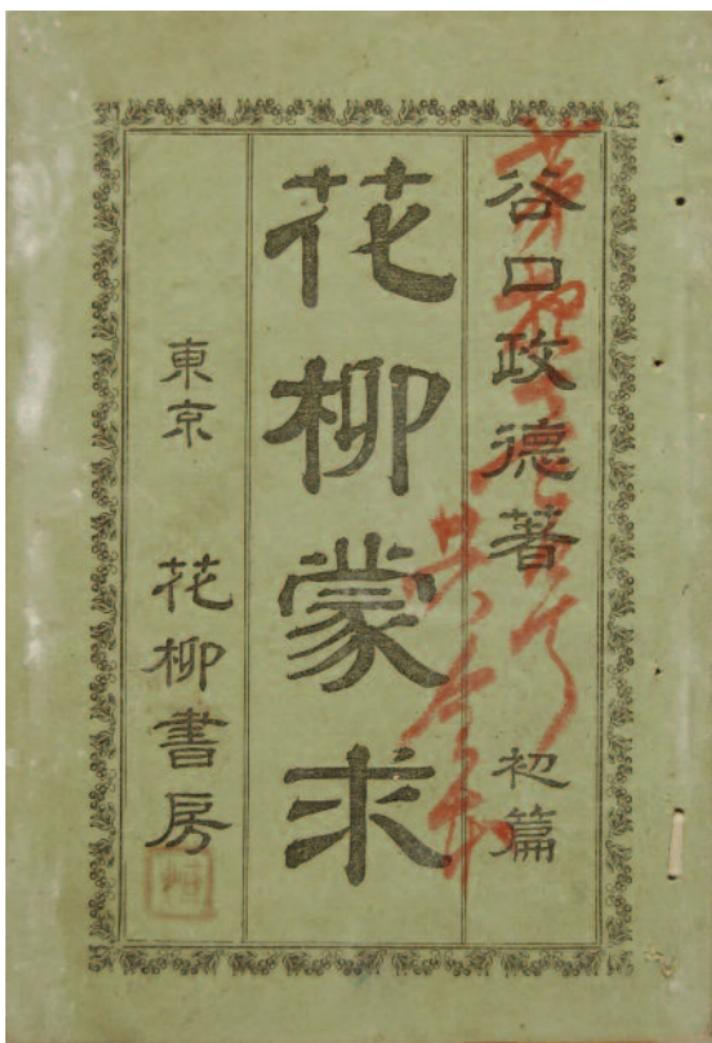
142.仙臺日本基督教會宮城中會關係資料



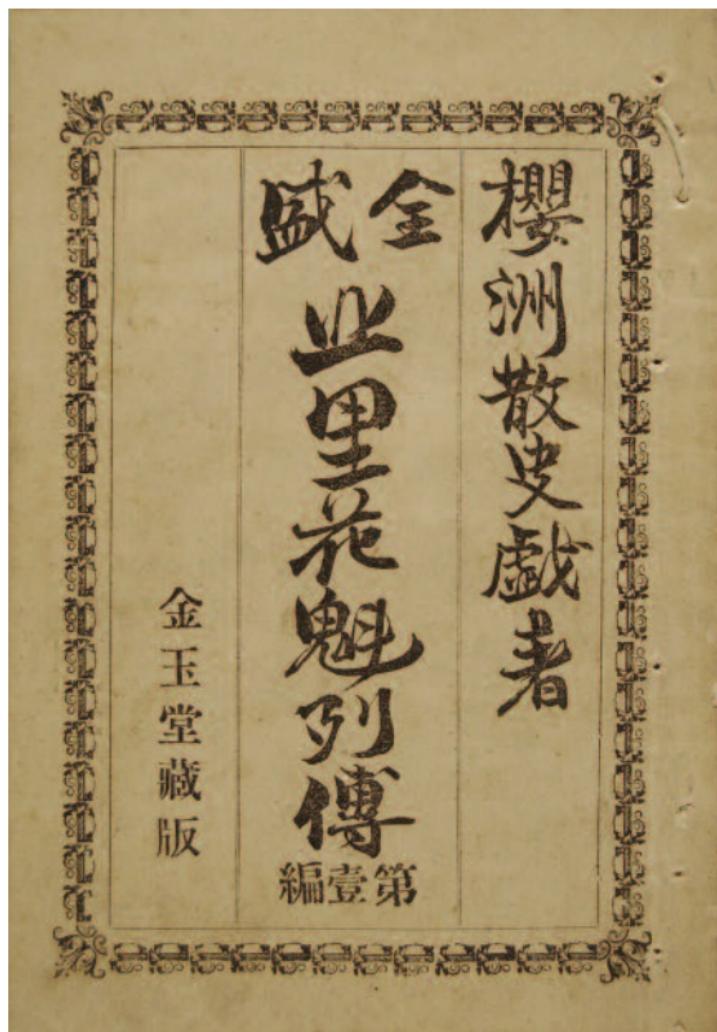
212.通俗無上政法論（植木枝盛記述）



268.社會燈 第壹號 (平等社)



236.花柳蒙求 初篇（谷口政徳著）



237.全盛北里花魁列傳 第壹編 (大久保夢遊著)



266. 魯文珍報（假名垣魯文編・河鍋曉齋画）



明治三十九年九月三十日三月八號萬拾壹萬零八號發行於日本

明治三十五年四月二日第二種郵便物認可  
振替貯金口座番號一〇九七

波米研究會  
八月例會

廿二

東京神田銀座三丁目一番地  
電話本局  
七一五  
山口眼科院  
入院  
診察  
午前午後

米渡雜誌

昭和年月日  
通事亭 3899  
今額亭 97  
中村小仁太藏書

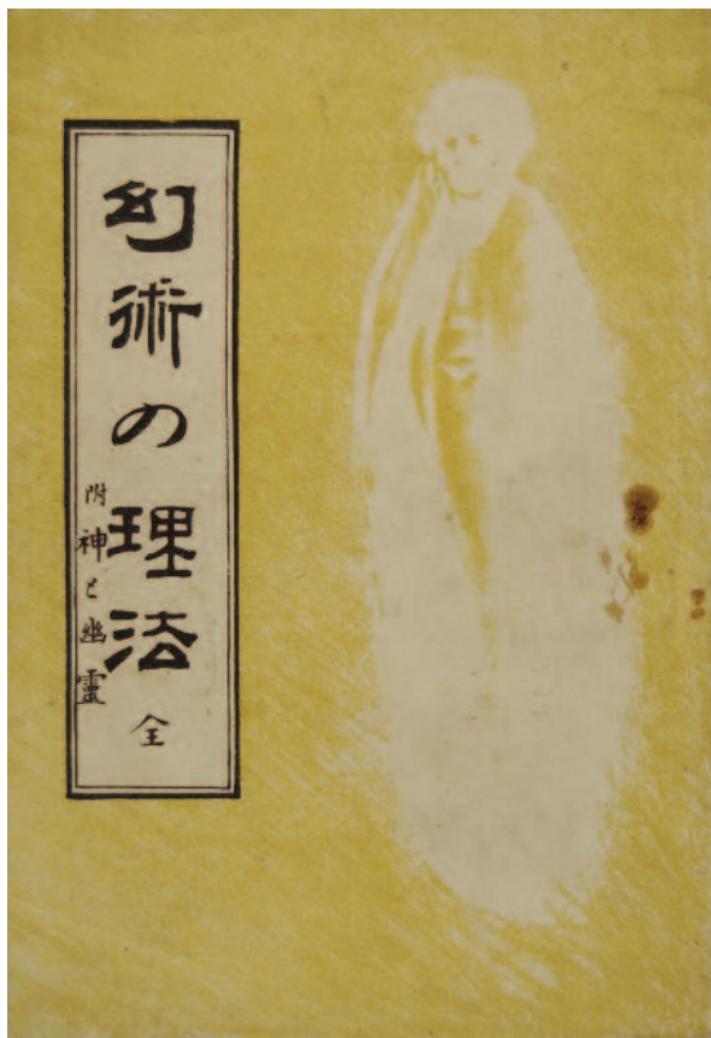


定作一冊郵費共計每冊六角七拍五錢十二冊合價五拾五角  
「舊米糴社」加入全臺通用印製社六處共「舊米糴社」五冊合  
價五元正五冊合價廿五元正五冊合價廿五元正五冊合價廿五元正

ライオン磨

オニコロ

### 269. 渡米雜誌（渡米協會長／片山潛）



238.幻術の理法 附、神と幽靈

## 古今和歌集 二〇卷

大一帖 三、五〇〇、〇〇〇

鎌倉時代後期寫 本ノ大キサニ五・〇×一八・七糸 粘葉装

一～三頁参照

料紙ハ鳥ノ子紙、首尾ニヤヤ虫喰イガアルガ中ニ入ルホドニ虫喰イガ少  
ナクナル。傳來ノママノ未補修。

卷頭ニ眞名序、次ニ仮名序、本文ニ〇卷ヲ合冊。奥書ハナシ。

卷頭ニ眞名序ヲ有スル鎌倉時代寫ト斷定サレル傳本ト比ベルトヤヤ大振  
リ。定家本系ノ所謂公家本ノ多クハ一丁ノ行數ガ八行ヽ一〇行ガ主流ナ  
ルモ本書ハ一二行。公家本系ノ傳本ト比ベテ書風ハ猛々シイ。書寫ハ僧  
侶マタハ武家ニヨルモノカ。藏書印「桂廻舎」ハ不明。ダガ押捺サレタ藏書印ノ印肉ハ比較的若イ。  
「桂廻舎」ヲ調べルト昭和初期ニ『桂廻舎歌集』ト題シタ刊本ヲ著シタ  
松園春美トイウ歌人ガ存在シタ。印肉ノ色合イカラミテソノ人物ノ可能  
性ガ高イ。



通情者莫及人代以風大興長祿雜祿雖須服  
木之類雜神非一源流漸斂不善猶拂雲之  
樹生自古田之傍注焉而沒起於一滴之源也  
必裕以津之什獻 天皇富堵川之第  
太子威奉聞祿異或與入出玄但見上古可  
多有古贊之語未為耳目之乾達為教戒之  
端古 天子每良辰美景詔侍長預宴筵  
者獻和秋若長情中躬一見賢愚之性豈  
相分所以函氏之被擇其之才也自之是皇乃之  
初惟詩賦詞文才子慕風經塵衫此家之重花  
我日俄之作政革一政和秋御真秋之

余德庄號漫山之雅號。妻為游之妻。  
閑中少長為叢之碩洋。滿耳思鍾陳施之。  
因於此之廢之道。妄詒之內。紀友則而盡心。  
頤紀貧乏前甲。裝少目汎河內躬恒不勞。有  
生主生忠峯等各獻家集。并古事萬物。詩  
曰。後百葉集。於是重有詒歌類所奉之禮。勸  
爲二十卷。名曰古今和禮集。長等詞少者之。  
艷若鴻鵠和之。長況武進恐時俗之嘲謔。  
慙才無之避。遇和禮之。十興以樂吾首。  
再溫嗟乎人。凡既沒和音。不在斯於。阿嘗  
歲次山壬。四月十五日。臣貫之等。謹序。

うれて下うそすと爲士さこのうそなま  
ほきなれどもあすつらうせよひとまきて  
そまのいことをうそういのこうかき  
それあつとと脊へれあひとまきてし  
きのとばよのうそをうこてれとうをへ  
そじまきりけをえのこよら思てそまく  
そのそらかまみあひにきやうをつゆきらう  
あをむくしまれとこれとめりつまえ  
うこわく人々そくうふそれとものとせ  
まおまがそとひつけうとそりぬりとる  
がたまくらうのうのそあをやうとやきう  
とすねののううそとまくぬまきら

おまかせのうゑにまづ  
おまかせをすましのとくをじんむるの  
月とおちつてくわをあまくはまども  
あまく

古今和奇集卷第十二

惠奇二

小野 小町

是のなきよへりとておもひておもひておもひて  
字をねじておもひておもひておもひておもひて  
ひそかにあまきゆくしむるおのをやめておきぬ

素性は抑

おはれとつまむておもひたからうす  
あとついとぞくのゆきけめ日そぞけ  
のそくえおうげことを奇かうみておの  
こもうらとぞふはうせりゆ

おはきよかきの羽長

古今和歌集卷第二十  
六奇所中奇  
かはひのく  
かまきり宿主をなすらえを  
日午紀了は既にまうちもつがまそ了  
かくやまもひのく  
とおせうきすすきをすくはまばくのく  
ゆめにあり  
むれいり羽立くわきアホくまつてぬをほほ  
水くきあり  
あくきうせつの底ふくすくあわせ種のまくわまく

二 伊呂波韻

丹表紙 原装釘 題簽欠

寛永一六年刊 小一冊 四〇〇、〇〇〇

一 「寛永拾六己卯歲孟春吉辰／二條通靄屋町／仁左衛門」

一四・六×一二・二糸。枡形本ニ近イ判型。表紙ニハ墨書デ「伊路波鏡」ト記。『伊呂波韻』ニオケル初板。正保三版、慶安三版、享保一九版、天明四版トツヅク。四～五頁参照。



伊	字
家	室
池	穀
磯	ノ
泉	水
沙	石
磧	磐
岸	岸
家	居
房	房
時	時
佔	占
氣	氣
息	息
屋	屋
沼	沼
井	井
埋	埋
市	市
院	院
空	空
窟	窟
石	石

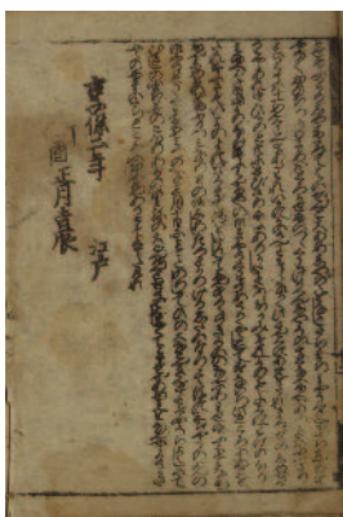
火	火	火
火	火	火
火	火	火
火	火	火
火	火	火

三

武藏野里子聖大權現

中一冊 八五〇、〇〇〇

一 説經正本 六段本 「享保二年 江戸 丁酉正月吉辰」 七九頁参照  
 插繪ハ見開キデ四圖。柱題「子」。丁ヅケ「一」「二」「三」「四五」「六」  
 「七」「八九」「十」「十一」「十二」。卷首ト本文ニヤヤ染ミガアル他ハ  
 虫喰イハ一切ナク保存良好。タダシ表裏紙ハ江戸末期ニ改装シタトオモ  
 ワレル古改裝本デ傷ミト小穴ガアル。『國書』ニハ本書ノ記載ハ無シ。





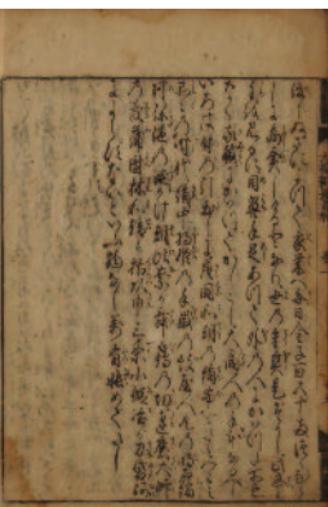
四

日本永代藏 大福新長者教 簡 貞享五年刊 大四冊 四〇〇、〇〇〇

一卷一・二・三・五(全六卷ノ内)。卷四ト六ヲ欠クモノノ虫喰イモナク若干染ミガアルガ比較的ニ保存良好。一〇・一二・一五頁參照。



井原西鶴著。吉田半兵衛風画。柱題「大福新長者教」。異版ナドヲ含メ  
テ數多クノ諸本ガアルガ、本書ハ三都、若シクハ二都ト呼バレル比較的  
早イ摺ノ傳本デアル。







五

日本新永代藏 今世長者鑑  
一卷一・二（全六卷ノ内）

鳳城團水自序 全テノ插繪ニ丹緑黃ノ古着彩  
アリ。表裏紙ト四周ニ柿渋ガ塗ツテアルタメ虫喰イハ全クナイ。

一一・一六・一七頁参照。  
正徳三年刊 大二冊 一五〇、〇〇〇  
簽



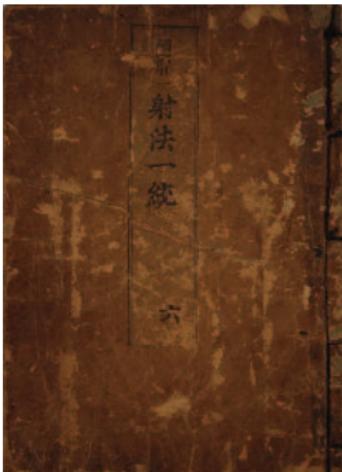


六 圖解射法一統 卷一・六（大尾）卷六簽 貞享五年刊 大二冊 一五、〇〇〇

—全六卷ノ内二冊 卷一ノ表裏紙欠末尾欠丁力

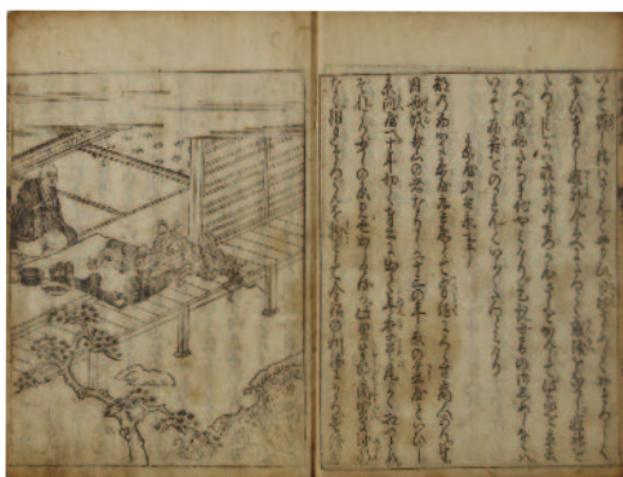
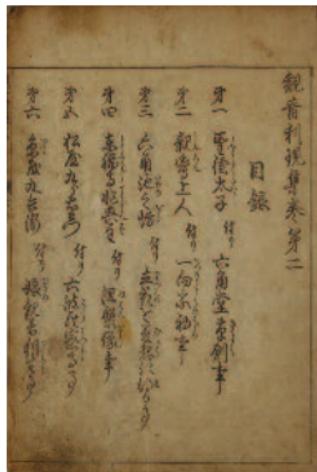
圖解  
射法一統

六



古今觀音利現集 卷第二 簿擦レ 刊年不明 正徳頃 大一冊 二五、〇〇〇  
 一柱題「觀音利生記」 国書ニ同名本ガアルモノノ一冊ト記サレル。

插繪ハ三圖。

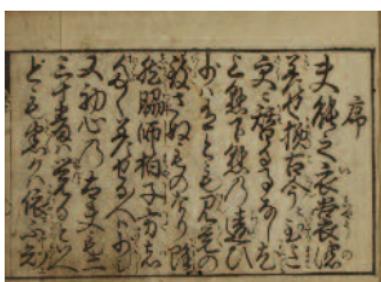
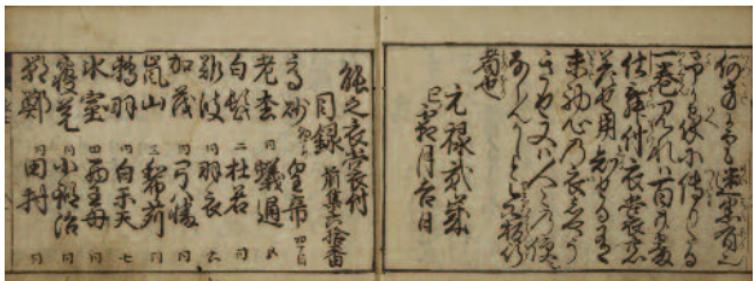


八能之衣裳付 上卷(下卷欠)

能之衣裳付  
—『國書』二八国会ト天理  
上卷(下卷欠)

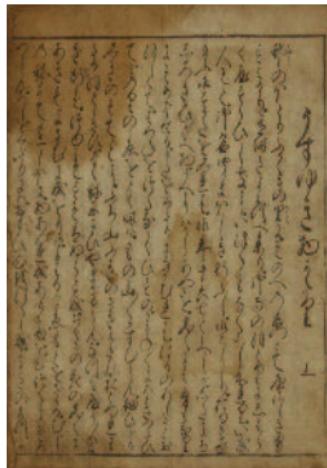
簽 元禄二年霜月吉日序  
(下巻一冊)ヲ示ス。

小横一冊 五〇、〇〇〇



九 新板繪入當流うすゆき物語 上巻

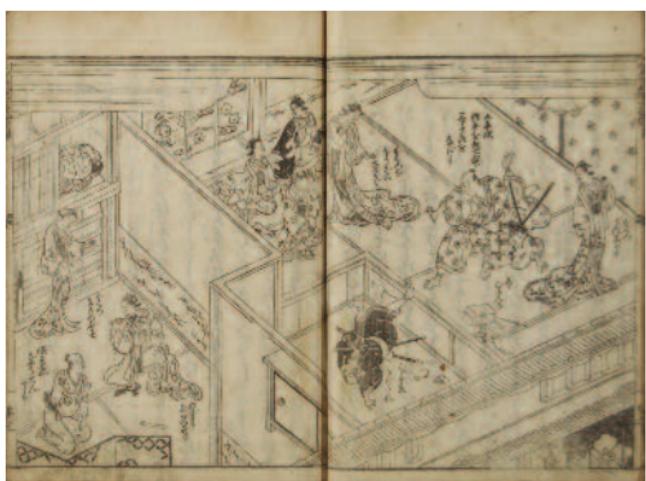
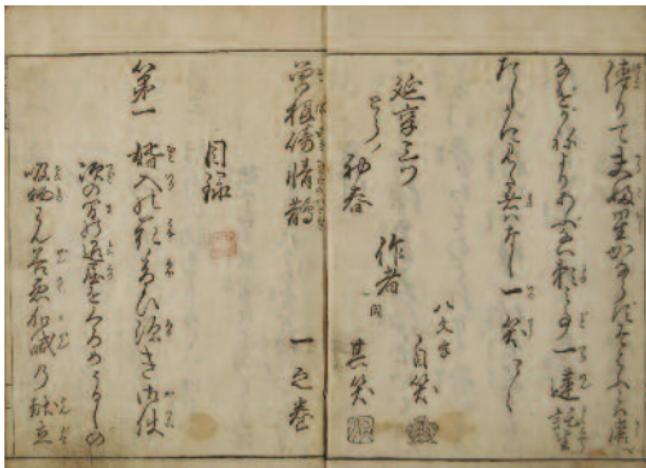
簽 元禄頃刊 大一冊 三五、〇〇〇

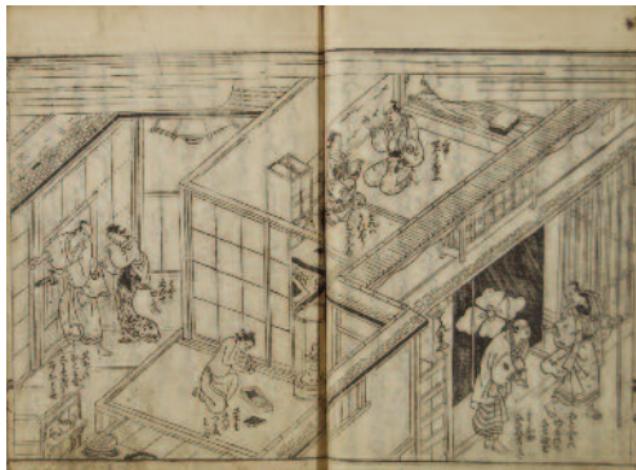


一〇 曾根崎情鶴 五卷 合本 改装本 延享三年序刊

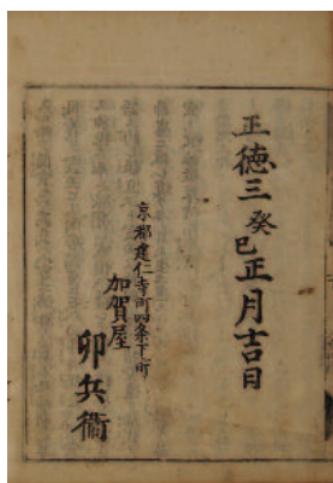
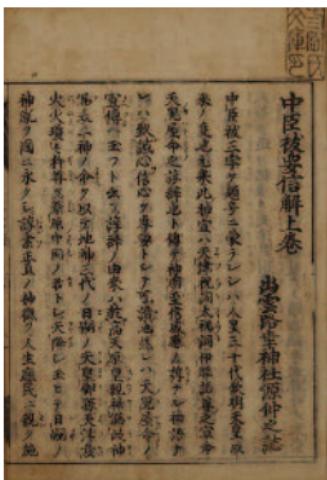
半一冊 一五〇、〇〇〇  
一八文字自笑・其笑作 八文字屋八左衛門板 一八・一九頁参照

浮世草子。明治時代ノ改装本デ表紙ニ傷ミガアルガ保存状態ハ良好。





一一 中臣祓要信解 三卷 簡欠 源仲之著 正德三年刊 大三册 一五、〇〇〇  
— 京都 加賀屋卯兵衛板

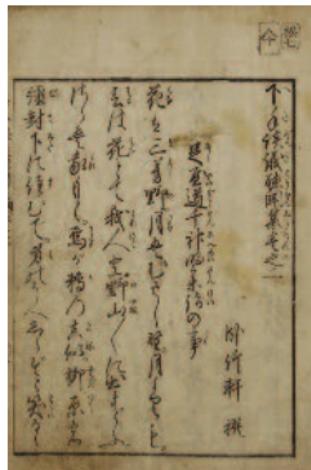


二 下手談義聴聞集 卷之二 簡臥竹軒著

一 滑稽本 全五卷ノ内

寶曆四年刊

半一冊 一〇、〇〇〇



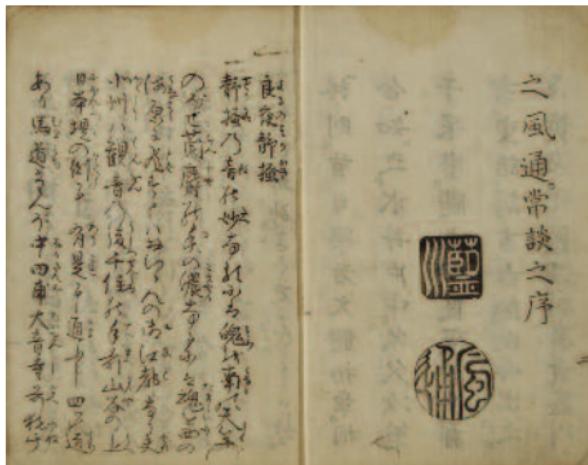
一三 良夜靜搔 改裝本 少虫 洒落本

無刊記

寛政年間

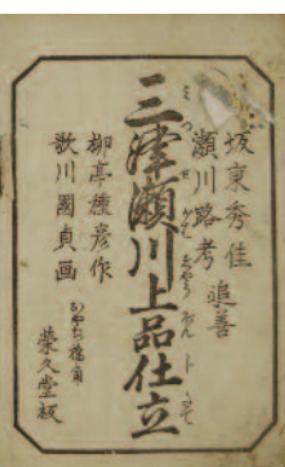
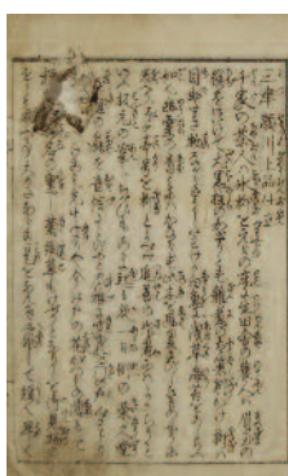
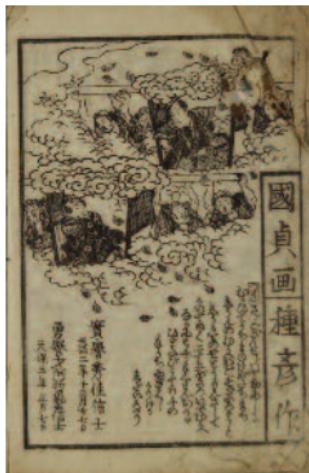
小一冊 一五、〇〇〇

之風通常談之序



一 四 三津瀬川上品仕立 全丁ニ瓦リ虫穴欠字  
坂東秀佳・瀬川路考追善 柳亭種彦作

天保三年序 中一冊 一〇、〇〇〇



一五 大ざつ志よ 簿 永樂屋東四郎板  
一方題簽ヲ附スガ外題簽ハ欠

江戸末期 中横一冊 一五、〇〇〇



一六 國性爺一代記 第二編 簡 錦耕堂梓 安政二年刊 中一冊 二〇、〇〇〇

| 假名垣魯文編

一鳳齋國明画



一七

蒹葭堂雜錄 五卷

簾少虫

前曉晴翁撰

明治摺

大五册

松川半山畫 大阪前川善兵衛ノ明治  
本ナリ。全冊ニソノ藏書印ヲ押捺。

前曉晴翁攝  
松川半山畫

全部五經

薰段堂雜錄

攝都書肆

五書房合粹

緒言

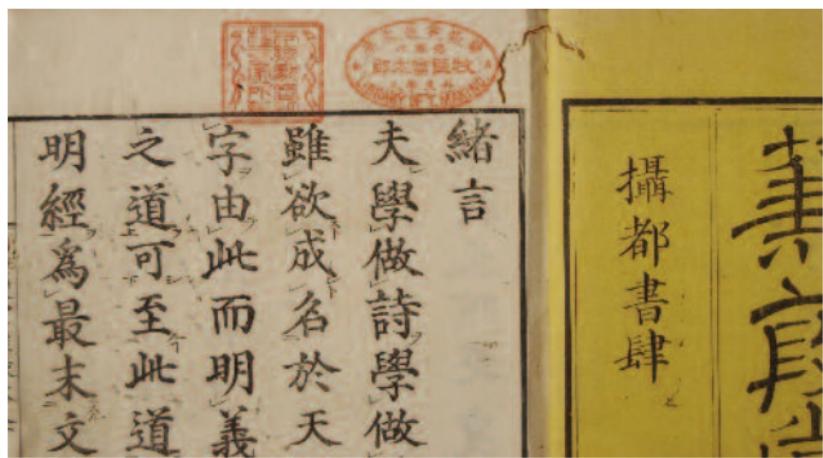
夫學做詩學做賦，學詠和歌，而  
雖欲成名於天下，非由此而識  
字，由此而明義，由此而知聖賢  
之道，可至此道難焉。先哲皆以  
明經爲最末文學也。宜哉，蓋此



文紀十一革甲戌七月

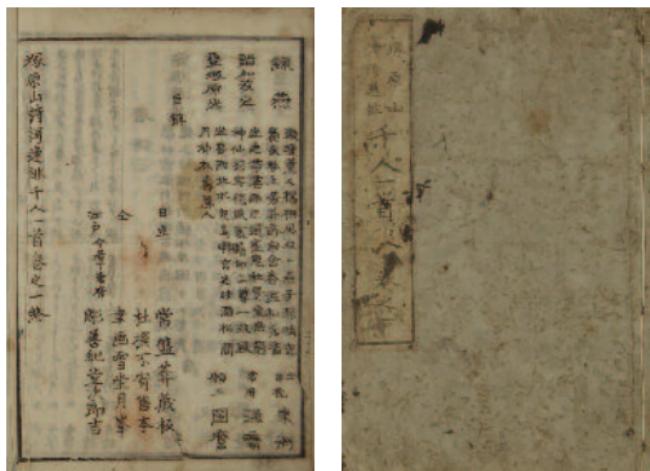
友人水戸聖軒主人

王原萬序



一八

塚原山 千人一首 卷之一 簡 弘化四年（國書） 半一冊 五〇、〇〇〇  
 | 常盤圓磨 日立 / 常盤庵藏板 日立 / 雪堂月峯画  
 常州及總州俳諧画像集 國書ニヨルト一冊ノミ以下未刊力



塚原山詩詞連俳千人一首卷之一



一九 狂歌名數画像集 卷首三丁  
文々舎撰 岳亭八島定岡画 丁數不備三一丁

半一冊 一〇、〇〇〇



二〇 當世名家書画 簽 ヤヤ虫多 著者不明 江戸末期刊 中一冊 八、五〇〇



二

蕙齋百千鳥

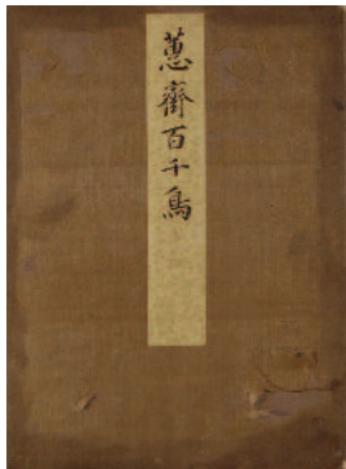
絹本表紙

画帖ノ大キサ二四×一七・五糪

簽 七面

蕙齋寫

無刊記 半一帖 一五〇、〇〇〇  
二〇・一一頁参照





三 草花畧画式

簽 鍬形蕙齋筆

文政八年酉六月刊

大一冊 五〇、〇〇〇





三三 江戸俳諧興行ノ摺物  
一 北齋宗理画 ヤヤ虫アリ

三八 × 五二 寛政享和頃刊 一枚 二二〇、〇〇〇





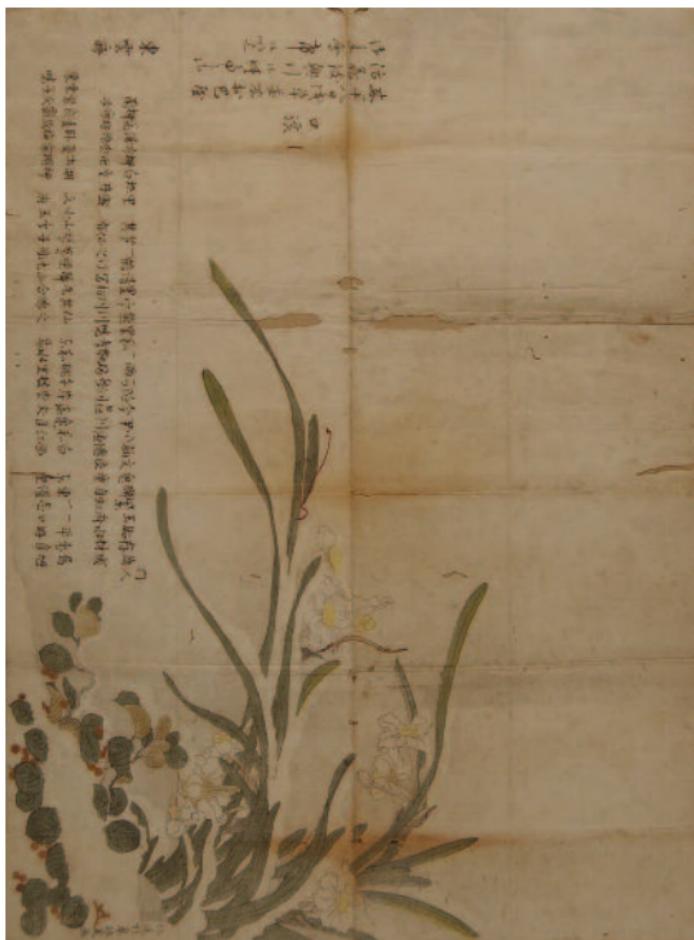
一四

北尾杉臯政美活花興業ノ摺物

三八×五一 無刊記 一枚

四五、〇〇〇

— 東雲齋 淺草並木お巴屋 寛政六年以前頃刊 北尾政美ハ 寛政六年二津  
山藩ノ才抱工繪師トナリ 鍤形蕙齋紹真ト名乗ル。虫穴アリ。



二五 江戸俳諧興行ノ摺物

江戸俳諧興行ノ摺物  
—北尾紅翠齋（北尾重政）画 四二×五六 文化頃刊  
催主／十寸尾 ヤヤ虫

一枚三五〇〇〇



二六

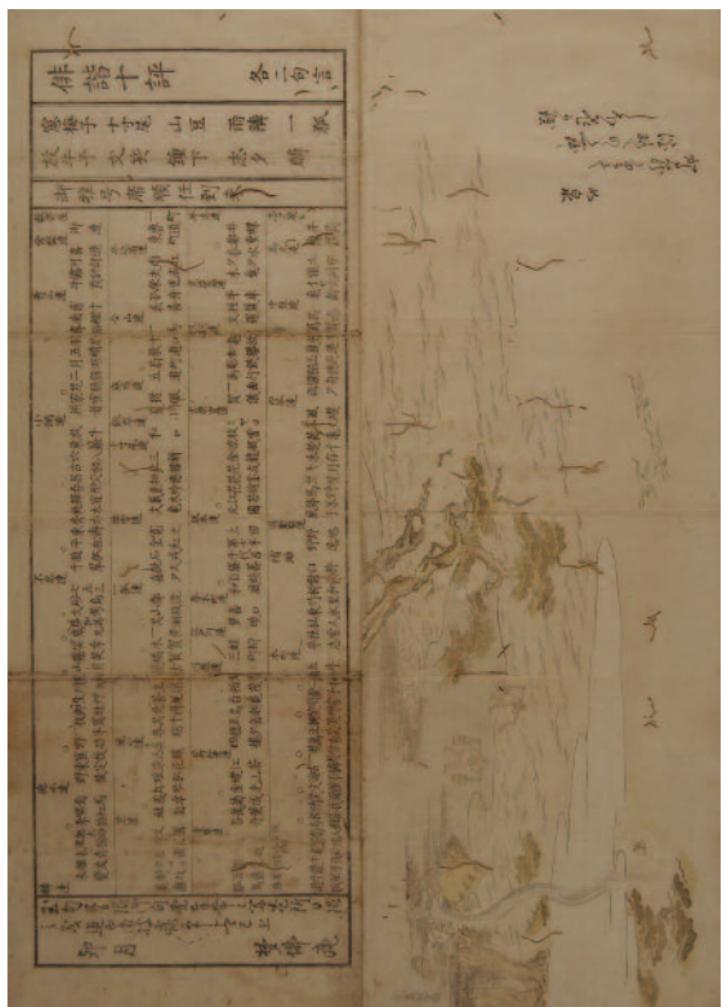
江戸俳諧興行ノ摺物

一 北尾紅翠齋(北尾重政)画

四〇×五六

文化頌刊 梢佛庵 少虫

一枚 三五〇〇〇



二七

江戸俳諧興行ノ摺物  
一犢齋陀羅画 少虫

四〇×五五 文化頌刊

一枚三五〇〇〇



二八

東都両國之風景ノ板木

一枚 八〇〇、〇〇〇

昇亭北寿画

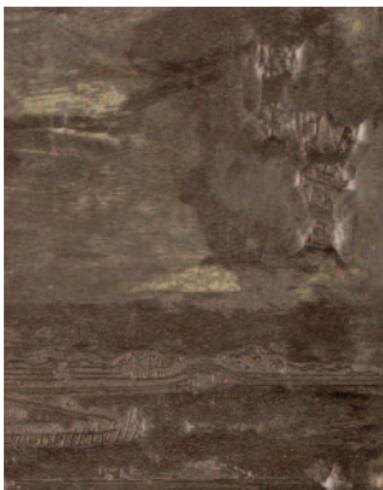
板木ノ大キサ二五・二×三〇・〇糪

二二・二三頁参照



刷り上がりの参考圖版

北齋ノ高弟北寿ノ洋式版画ノ代表作ニシテ名品。文政頃ノ作品ト云ウ。版面自體ハオリジナルダガ四周餘白ヲ裁断シテ硬質ノ額縁ニ埋メ込ンダ状態ニアル。額縁外梓デ二九・〇×四二・〇糪。



二九

繪馬奉納ノ摺物

二四×三八 天保七年春三月吉日

一枚 二五、〇〇〇

三〇

放長谷川久藏筆意／米冲画 厚手和紙  
酒銘問屋鏡 初編

二九×三八 安政六年初冬

一枚 二五、〇〇〇

錦盛堂撰



三

上州高崎中紺屋町酒井平次郎引札

上州高崎中紺屋町酒井平次郎引札  
— 小林清親画 松本平吉編輯出版

三五×二五 木版 明治一六年曆

一枚三〇、〇〇〇



三一 柴田是眞俳諧摺物

二一 × 九五 安政二年冬

一枚 一五、〇〇〇

三三 江戸初期奈良繪

二四 × 一七・五糰

一枚 三〇、〇〇〇

三四 古畫暁画雙六

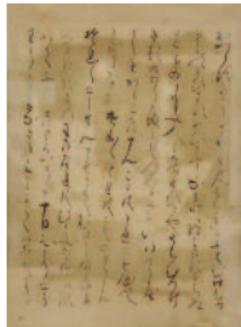
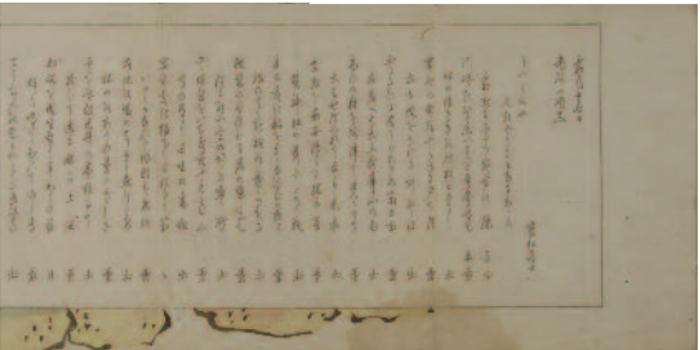
四五 × 七〇 裏打傷ミ 無刊記

一枚 四五、〇〇〇

一 河鍋暁齋画

日本橋／武川清吉版

一枚 一五、〇〇〇



裏面ノ書



三五

大將ぞろへ 染ミ 森治板 無刊記 江戸末期刊 極小一冊 三五、〇〇〇

内題「英勇武者ぞろへ」 八丁



三六

子ドモ繪本ノ袋 源平盛衰記 八×六糸 明治初期頃

一枚 五、〇〇〇

一板元／竹川町／松根屋板

二〇、〇〇〇

三七  
三八

俠客醉好傳三 極美 繪本廿四孝

銅版繪本 國政画

神山清七画版 牧金之助編

明1819 極小一册 一〇、〇〇〇



三九

本繪川中島軍記 銅版繪本 實錄紫志ん八一代記 豊年  
四〇 伽嘶ムラ芝居 お伽嘶ムラ芝居

木正成公 少傷ミ 仰天子著 庄司善吉 大阪府教育會 町田瀧司 金港堂

明2 361817

極小一冊 一〇、〇〇〇  
三、五〇〇  
文庫判 三、〇〇〇  
菊判 三、〇〇〇

